

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクールPFS		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 10日	～	R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R7年 12月 19日	～	R8年 1月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内のチームワーク・法人内の他事業所との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の理念・信念をしっかりとみんなで共有・浸透していく上で、子どもと保護者のニーズをしっかりと捉え、最善の利益をみんなで考えるようにしています。職員がお互いのコミュニケーションとお互いの考えを尊重していくことで、ベクトルを一つにしなが、職員の子どもに対する一貫した支援へとつながっていきます。 ・他事業所の情報や支援を借りながら、最善・最大の策を立てていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちに必要な研修をさらに企画し、それぞれの知識・技量を高めま ず。 ・他事業所の活動内容をさらに理解し、よりよい連携のあり方を考えます。 ・決められた機会だけではなく、こまめに情報共有・話し合いをし、一枚岩となって、同じ方向を向いた支援を引き続きできるように心がけます。
2	子どもや保護者のニーズをより正確にとらえ、利用者の立場に寄り添って支援を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で、子どもを取り巻く背景を考え、表面に出ている氷山の一角ではなく、他事業・関係機関と協力し、なるべくその子の全体像を多面的にとらえていきます。 ・その子のやりたいを、その子によりそってできる限り見つけ、その子に合った支援活動をしています。 ・子どもの育ってきた環境も含め、それまでの保護者の想いも、大切に尊重して受け止めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、ケース会議を設定します。 ・個人情報の取り扱いには、十分配慮します。 ・子どもも、職員も、みんな対等であることを心において、人を動かすのは、最終的には人への思いなので、そのことを踏まえた行動を日ごろから心がけます。 ・職員が余裕をもって、良い支援ができるような働き方をします。
3	関係機関との積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの支援の中で、立ち止まってしまったときには、関係機関に積極的に相談し、子どもや保護者の思いをより深く理解し、どう支援したらよいのか、相談して支援していきます。 ・子どもや保護者の一生を視野に入れながら、各相談機関と連携していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで抱え込まずに、個人情報に気を付けながら、相談できるところには、積極的に相談していきます。 ・協力してくれる関係機関をリストアップし、整理します。 ・学校とも、積極的に連携していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ事情が深いケースの保護者が多く、なかなか来所も難しい保護者や、話し合いを希望されない保護者も多いため、今の時点では、父母の会や保護者会等、保護者同士の交流は、難しいと考えております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時等に左記についてのニーズを保護者に確認した上で、必要に応じて開催を検討していきます。
2	家族支援プログラムや家族への研修	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等について、決められた日時に来所することが、ご多用なことや事情により難しいケースが多いです。 ・まだ、ニーズをきちんと確かめていないので、今後、検討し、企画していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムは、必要に応じて、実施していきます。 ・面談時等に左記についてのニーズを保護者に確認した上で、必要に応じて実施を検討していきます。
3	防災計画やBCPの保護者への周知	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画は、以前から作成しているが、公開はしていません。 ・避難訓練は月1回実施しています。 ・非常時の対応に関する書類は、今後周知の仕方を検討していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、ホームページ等に掲載という形で、防災計画やBCPを周知していきます。 ・防災計画やBCPの子どもたちに必要な情報は、わかりやすく視覚化して、掲示していきます。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アフタースクールPFS

公表日 R8年3月23日

利用児童数 19

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9 (64%)	3 (21%)	0 (0%)	2 (14%)		子どもたちが、自由に活動できるスペースを確保できています。1階のフロア、個別談室、室外スペース、散策等、気軽に活動できるスペースを用意させていただいています。いつでも見守りできる雰囲気や環境作りに取り組みたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7 (50%)	2 (14%)	0 (0%)	5 (36%)		決められた適正人数の配置はもちろん、ボランティアの方など、なるべく細かい対応ができるように努力しています。Vol. 11 PFS広報誌にて職員紹介しましたので、ご覧ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10 (71%)	3 (21%)	0 (0%)	1 (7%)		子どもが、わかりやすく生活できるための視覚的手立てや、ルールを知らせる環境を整えています。また、子どもの特性に応じた机の配置や環境を整えています。簡易スロープは、いつでも出せるように準備させていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9 (64%)	3 (21%)	0 (0%)	2 (14%)		生活空間は、常に清潔を心がけ、子どもたちにも衛生指導をしています。子どもたちの意思で、やりたいことを実践できる活動空間となっています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12 (86%)	1 (7%)	0 (0%)	1 (7%)		広報で、スタッフのメンバーを紹介しました。また、より専門性の高い職員の確保・育成に努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10 (71%)	1 (7%)	0 (0%)	3 (21%)		支援プログラムをもとに、支援計画や支援の在り方を常に検討しております。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11 (79%)	1 (7%)	0 (0%)	2 (14%)		子どもと保護者のニーズや、子どもの変化の観察、日々の子どもの情報共有、ケース会議、事業所会議をもとに、5領域を踏まえた個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7 (50%)	1 (7%)	0 (0%)	6 (43%)		子どもや保護者のニーズをくみ取りながら、よりよい支援を目指して、計画しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11 (79%)	2 (14%)	0 (0%)	1 (7%)		事業所での、情報共有を大切に、みんなの意見をすり合わせながら、計画を立て、支援の実践につなげています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6 (43%)	3 (21%)	0 (0%)	5 (36%)		年間計画を立てるときに、子どもやスタッフのやりたいを大切にしながら、活動プログラムを作成しています。支援プログラムの内容も、子どもの意見をなるべく取り入れることを意識しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3 (21%)	1 (7%)	3 (21%)	7 (50%)		PFSのイベントで、地域や関係機関に案内していただき、「ポッチャ」で地域の大人と交流したり、地域の福祉施設やお寺との交流活動、地域の清掃をしたりなど、地域の方との理解と協力を得ながら、地に足をつけた活動を進めております。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		運営規程、支援プログラムについては、本年度の改定の部分もありましたので、より広く説明していきたいと思えます。利用者負担等についても、わかりやすい説明を心がけていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		子どもや保護者のニーズを確認しながら、支援内容の説明をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3 (21%)	3 (21%)	3 (21%)	5 (36%)		家族支援プログラムや研修会については、よりご家族に参加しやすいあり方を考えていきたいと思えます。また、情報提供については、ホームページやパンフレット等を充実活用して、より周知していきたいと思えます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8 (57%)	3 (21%)	0 (0%)	3 (21%)		よりきめ細かい情報共有と共通理解を、これからも心がけていきたいと思えます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8 (57%)	3 (21%)	0 (0%)	3 (21%)		定期的な面談や子育てに関する助言等の支援は、それ以外にも必要に応じて行うよう心がけています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10 (71%)	3 (21%)	0 (0%)	1 (7%)		事業所の職員は、常にそれぞれの相手の立場でできることを本人や保護者と一緒を考えることを心がけるようにしています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、まよふたへのイベントの開催等により、まよふたへの交流の機会が設けられるなど、まよふたへの支援がされているか。	2 (14%)	1 (7%)	4 (29%)	7 (50%)		父母の会や保護者会は、設定されておりませんが、これからの課題として取り組んでいます。利用者だけではなく、その子どもとまよふたや家族や環境を多角的にとらえ、助言等の支援を行っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11 (79%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (21%)		常に、お子さんと家族に寄り添い、状況に応じて必要な場合には、職員全員でチームを組んで対応にあたるようにしています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9 (64%)	4 (29%)	0 (0%)	1 (7%)		必要な時だけではなく、負担にならないよう、日ごろから、コミュニケーションを積極的に取っていきたく思っています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6 (43%)	3 (21%)	1 (7%)	4 (29%)		毎月1回、子どもの様子を記載した報告書を各家庭に郵送にて送付させていただきます。定期的に会報やホームページ等については随時更新させていただいています。自己評価の結果は年1回ずつサポートに掲載させていただいています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11 (79%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (21%)		個人情報については、管理・情報共有について、職員間で、徹底しています。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5 (36%)	1 (7%)	1 (7%)	7 (50%)	1階の入り口にマニュアルを掲示し、必要時には、安心安全メール等で随時保護者様に連絡し、迅速な対応を心がけています。マニュアルについては、お知らせする方法を考えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	7 (50%)	月1回定期的に避難防災訓練を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7 (50%)	1 (7%)	0 (0%)	6 (43%)	各月の訓練で、避難経路や、災害などが起きた時の対応について、指導している。また、防災計画と災害が起きてからの事業所運営の対応策「BCP」を作成している。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5 (36%)	1 (7%)	0 (0%)	8 (57%)	事故等が発生した際には、速やかな連絡・最善の対応を心がけ、状況等の説明をするように心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13 (93%)	1 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	こどもが帰される場所・安心できる場所を前提とし、その子らしさが活かされるよう、最善の支援を考えています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11 (79%)	3 (21%)	0 (0%)	0 (0%)	子どものやりたいを大切にし、その子に必要な療育を心がけています。子どもの得意分野が増えるよう、育つよう支援しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13 (93%)	1 (7%)	0 (0%)	0 (0%)	常に子どもやご家族のより良い幸せのために、共に支援を考えていくように心がけています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R8 年 3月 23日					
アフタースクールPFS							
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	0		より、季節感を感じるものや、植物やインテリアの導入。布団が毛布など、休める、いごちの良い環境を作り出しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	0	法定上の基準配置数は満たしているが、在籍している利用者が個別対応を希望するニーズが多くなったため、人員が少ないと感じることがある。個別対応と集団対応のバランスが取れるように、法改正を視野に入れた改善が必要だと思われる。	決められた適正人数の配置はもちろん、ボランティアの方など継続して募集していくなど、なるべくきめ細い対応ができるように努力しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	0	備品などはラベルシールを貼るなど、物の配置を分かりやすくしている。また、車椅子を使用している方にも対応できるように、簡易スロープも常備している。	子どもが、わかりやすく生活するための視覚的手立てや、ルールを知らせる環境を整えています。一目でわかる指示物もさらに作成していきます。また、子どもの特性に応じた机の配置や環境を常に整え直していく。簡易スロープは、いつでも出せるように準備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	0	開所前後に常に清掃及び消毒を行っている。	生活空間は、常に清潔を心がけ、子どもたちにも衛生指導を継続していく。子どもたちの意思で、やりたいことを実践できる活動空間としていく。みんなで毎日掃除する時間をより広げていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	0	個別対応が必要な利用者に対しては適宜本人や保護者に提案などを行っている	本事業所で足りない時は、他事業所と連携して、より柔軟に子どもに対応できる環境を維持していきます。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	3	0	月1回の会議で職員が集まり、必要に応じて振り返りや改善を行っている	目標を共有し、実践し、振り返り、次のステップをどうするか、短いスパンや大きいスパンでやっていますが、これからも研修やミーティングをうまく活用しながら、常にきめ細かい連携を図っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3	0		情報共有を常に心がけ、ベクトルを同じにして、対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	0		今後も常に事業内、他事業との情報共有や支援の在り方について、連携を有効に活かしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	0		第3者による外部評価はないので、これから作り上げていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	0		常に必要な課題を、見つけ出し、検討し、自分たちの活動に生きます。自分たちの事業所をしっかりと見直し、何が必要かを考え、活かせる研修を打ち立てていきます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	0	・事業所に掲示の他、月1回郵送する報告書と共に同封している	ホームページに挙げていますので、スタッフや保護者、関係機関等、よりわかりやすい公表の仕方を考えていきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	0		これからも、本人や保護者のニーズをしっかりとらえながら、子どもをよくみて、なるべく多くの情報を取り入れながら、より本人にあった支援を探索し、サービス計画を立てています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	0		より、多くの関わる職員の情報を共有し、職員みんなが共通理解をし、最善の支援について協議し、一つの方向を向いて最善の利益を追求していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	0	月1回の会議や活動記録などを見比べながら、必要に応じて確認した上で支援を行っている	子どもの状況を見ながら、職員で相談しながら、計画をもとに、その子にあった支援を探索していきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	0	契約時に記入いただいたアセスメントシートを適宜確認の上で支援に当たるのに加え、利用者さんが来所時に声掛けなどによる体調確認を必要に応じて行っている。	常に子どもの状況を、職員みんなが把握し、支援の在り方を確認しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	0		これからも連携の変化によって内容が変化してくることが予想されますが、具体的な支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	0	月1回の会議で翌々月の活動プログラムについて協議している	立案は、チームで行い、子どもたちの意見を、これからも、なるべく多く取り入れていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	2	0	月1回の会議で翌々月の活動プログラムについて協議し、季節や利用者さんのニーズに合わせてものを作成している	これからも子どもや職員の意見を取り入れながら、常に会議に挙げながら、作り上げていきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	1	0		これからも、子どもの状況を見ながら、支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	1	口頭又は事業所内のチャットにて必要に応じて情報共有を行っている	なるべく、人対人の共有をしていますが、難しいときは、ICTをうまく活用してチームで連携支援していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	1	口頭又は事業所内のチャットにて必要に応じて情報共有を行っている	・利用者の対応等で対面での打ち合わせが難しい際は、ICTを活用して打ち合わせを行うことで、これからもチーム内の連携を測れるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	0	活動記録等は毎日記録をとり、それに加えて緊急性がある情報については口頭や事業所内のチャットにて共有を行っている。	これからも継続していきます。常に支援の検証、改善に努めています。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	0		常に定められたモニタリングを行っているが、必要に応じてそれとは別に、モニタリングをしています。なにもなくても、モニタリングをしておくことも計画しています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	1	0	月1回の会議や事業所内のチャット等で協議しながら支援を行っている	その子のニーズに合わせ、より充実した支援を考えていきます。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	0	必要性がある利用者さんに対して支援者との個別面談等を行い、当該の力がつくよう支援している	当事業所が備わっていることで、状況に合わせて面談したり、話を聞いた後、各職員で、その子に合わせて支援をこれからはしていきます。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	0		参加する職員には、必ず情報共有をたううえで、これからも参画していきたいです。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	0		現在、必要に応じて行っていますが、これからは、もっと積極的に連携していきます。また、連携できる関係機関を整理していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	0		月一回、学校とは情報共有し、P.F.Sのみらい通校とは、併用している子どもが多く、週に一回情報共有、連絡調整をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	0		今のところ、該当者はいません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	0		日ごろから、定期的に行っていますが、移行支援についても、必ず必要な情報は共有していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	0		民間のスーパーバイズの相談を受けているが、回数を増やしていく予定です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	0	3		近くに、座席所支援センターがあるので、利用、交流していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	0		参加した職員は、情報共有を行うことになっています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	0	月1回の報告書に加え、必要に応じて電話等での情報共有を行っている	常に、子どもや親とのコミュニケーションをとり、これらもより良い支援に繋いでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	0	4	保護者さんのニーズが出てきたら、開催を検討していく	現在、行っていないので、これから作り上げていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	0		事務等と連携しながら、これらもわかりやすい説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	0		ニーズをしっかりとらえたとうえで、確認していくことをこれからも続けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	0		今後も、今のその子の状態に合った支援を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	0	月1回の報告書に加え、必要に応じて電話等での情報共有や相談を行っている	その時がチャンスなので、相談にすぐに応じ、共に考えていく支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	1	2	保護者さんのニーズが出てきたら、開催を検討していく	きょうだいのいる場合は、交流に心がけていますが、今後、父母の会や保護者会を立ち上げることも、考えてます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	0		常に状況を把握し、何を求めているのか、何が課題なのか、どうしていくのか、正確に迅速に対応できるように、これらも心がけていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	0	SNSや当法人のホームページを用いて発信している	法人内での広報を活用することもあるが、安心・安全メールを使って、これらもネットワークの良い連絡をこころがけていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	0	個人情報関連の物は鍵付きの戸棚に保存している。デジタルデータ関連はセキュリティがかけられたサーバー内に保存している。	今後ともとても慎重に配慮していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	0	大切な情報は、月1回の報告書と共に郵送している他、メーリングリストや電話を用いて共有している。	その子や保護者にとって、一番良い方法を常に模索していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	1	事業所見学が可能な体制は整えている。	周辺近所の方に、この事業所の紹介や、協力について、チラシやパンフレットをもって、挨拶に回ったりするなどしました。これらも、地に足がついた地域連携をしていきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	1	月1回の訓練を実施している	作成したものを、職員や家族等に、きちんと知ってもらう方法を考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	0	BCPは年1回見直しをしている。それを元に月1回の訓練を実施している	作成したBCPについて、検討・改善していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	1	0	契約時に把握している。また、変更時には連絡いただくように声掛けを行っている	これからも、必ず事前、定期的に確認していきます。
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	0		これからも食物を扱うような場合には再確認や、契約時には、必ず確認・情報共有をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	0		法人内にある、危機管理チームと、きちんと連携していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2	0		現在、安心・安全メールを活用していますが、組織取り組みについては、HP等を活用して、周知・徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	0		ヒヤリハットについては、研修も含め、今後も再発防止に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	0		法人内の研修や外部の研修に、積極的に参加し、これからも適切な対応ができるように努力していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	0		現在該当する利用者は在籍しておりませんが、必要な場合には、必ず相談して支援計画に打ち出し、行前には、子どもや保護者に十分説明し、了解の上で行うようにします。